

NPO法人 かながわ外国人すまいサポートセンター



ニュースレター No.32

“すまセン”の窓口ではスタッフが6ヶ国語で相談を受け付けています。
 アパート探しの内見や契約後の問題発生など必要に応じて通訳を派遣します。
 お気軽にお尋ねください。

ごあいさつ

2019年送る月を迎えました。季節の移り変わりが曖昧であるばかりか異常気象にも見舞われ台風や大雨、洪水などで多くの方々が被害にあわれました。特に気になった事は日本の古い住宅に住む外国人たちが雨戸の使い方が分からず想像以上の被害に遭ったと言うニュースでした。私たちは外国人の住まい探しや生活をサポートする団体ですが、今年起きた災害を振り返りながら住宅支援は防災情報の提供が必須だと考えるようになりました。そういうこともあり今年度は、神奈川女性会議とのコラボレーションによる「防災寸劇-多言語版-」をあーすフェスタ及びかながわボランティアフェスタで披露することになりました。災害時の支え合いは言葉だけではなく心と行動が大事だと実感することができました。すまセンは今年も多くの複合的な問題を抱える人たちの相談が多数持ち込まれましたが、皆さまとの連携と協力を以て乗り越えることができました。ありがとうございました。
 来年は良い年になりますように。



かながわ外国人すまいサポートセンター理事長 裴 安

「すまセン」

神奈川弁護士会 人権賞 受賞!!

第24回神奈川県弁護士会人権賞をかながわ外国人すまいサポートセンターが受賞しました。表彰式は、去る11月2日に開港記念会館で行われました。行政機関や国際交流協会、民族団体、不動産業界団体等と連携しながら、在日外国人の居住支援、生活相談に多言語で対応してきたこと、相談者へ寄り添いながら多文化共生社会づくりに貢献してきたこと、近年には外国人だけでなく生活困窮者自立支援にも取り組んでいることが評価された上での受賞でした。

2001年に設立し、2006年1月にNPO法人として認証され現在に至っています。横浜YMCAの理解と協力のもと、YMCA2階に拠点を置き活動を続けてきました。年間相談数は1000件から1300件に及び、やさしい日本語を含む10言語で対応しています。2018年度には、神奈川県「住宅確保要配慮者居住支援法人」の指定を受けました。

外国籍で、言語の問題や文化の違いからの誤解などにより社会的弱者となり、同じ地域に住むにも関わらず十分な情報を持たず、差別を受けている人たちへの支援を行ってきたことへの評価であると思われまます。

神奈川人権賞は、横浜市緑区で発生した米軍機墜落事故での弁護団からの寄付がきっかけとなり、1992年に基金設立したものであり、第1回は1996年となります。このような賞を受けたこと



ことは、多文化共生社会に向け人権擁護を広げるすまいサポートセンターとしての活動に大いなる励みとなります。今後も理事、スタッフ一丸となって、困難を抱える人たちを支える歩みを続けていく所存です。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

協同・連帯・地域づくりの大切さをアピール



パネルディスカッションの様子

2019年11月29日、30日すべてのいのちが持続・循環し、協同・共生する社会づくりの実現に向けて、社会的困難や課題解決のための、地域を舞台とした市民主体の取り組み、協同・連帯による持続可能な地域づくりの先進事例を集め、全国レベルで交流し学びあおうと『いま、「協同」が創る2019全国集会（2019かながわ協同組合のつどいと連携開催）』が2019年11月29日、30日横浜市内で開催されました。

初日の基調講演はフォトジャーナリストの安田菜津紀さんが登壇し、紛争地での人々との出会い、子どもたちの姿を紹介しながら真の平和について、また東日本大震災以降の福島での活動やそこで出会った人々との交流を通し、感じ、気づいたことなどについてお話されました。パネルディスカッションには株式会社創造集団 440Hzの山本菜菜子さん、大川印刷の大川哲郎さん、当団体から妻安が登壇しました。妻から外国人の日本における立場や現状について、また課題解決に向けた市民たちの連携について訴えました。

2日目は、20の分科会が開かれ、「外国人の暮らし」において妻がコーディネーターを務め若者、仕事、学校などについて語り合う場を持ちました。

この集会においてどの登壇者の発言もどのようなテーマも人々の生活からはずせない大事なことで、平和や自然環境、外国人の暮らし、引きこもりや福祉、教育、医療、人々の生活などは相互理解とつながりの中で守られ、解決に向かわせることができるのだと感じました。

私の心に残ったのは安田菜津紀さんのお話で、その中でも印象的だったのは福島の本松のお話でした。私たちの視点からは希望と捉えられますが、当地では決してそうではないと言う事、感じ方や理解の異なりは時として本質そのものの理解をも変えてしまう恐れがあるのだとの感想を持つことができました。それぞれの立場からの見方、考え方に寄り添うこと、問題の本質を意識しながら支援を行うことはすまセンの活動に関わる私たちが大事にしていることです。すまセンが不安を抱いた人々たちにとって自立を支える希望の場所になるよう今後も努力して行きたいと改めて感じさせられた集会でした。



分科会「外国人の暮らし」

外国人の暮らしはパズルのようで、1つもかけてはならないもの

『いま、「協同」が創る2019前回集会 in kanagawa』が開かれ、2日目の「外国人の暮らし」の分科会に参加しました。分科会の中では、福祉や文化交流、日本語教育について話されました。

初めてこのような分科会に参加しましたが、コーディネーターやパネリストとの距離が近く、皆さんが一生懸命日本の現状について伝える姿に心を打たれました。愛知県高齢者生活協同組合の藤井克子さんは、日本人と外国人が共に働ける環境を、共に協力して作っており、一緒に来られた上江洲恵子さんは居心地のいい仕事環境であると話されていました。日本人と外国人が共存するには、片方の努力だけではなく、お互いのために努力し、尊重することが必要だと感じました。ビビンパネットの丸谷士都子さんは交流を大事にしており、朝鮮学校の実情をより多くの方に知ってもらえるよう活動しています。この活動では、参加した方に理解してもらえるように、

状況を伝え、すべての方が当事者であることを実感してもらうことが大事だと感じました。日本語教育について話された白聖墨さんは、ご自身が経験なされたことやデータをもとに、日本語教育の大事さを強く語っていました。そこで、教職員の研修や制度について問題提起をし、これらを変えていくには、若者の力が必要であり、私たちがアクションを起こすべきだと考えていました。

このように、外国人の暮らしについて、一つ一つの分野に視点を当てた時、問題はまだまだたくさんあります。問題解決をするために、多くの方が動いているのも事実ですが、日本全体を巻き込むために私たちにできること、なにをするべきかこれから考えていく必要があると思いました。また、私は外国人の暮らしはパズルのようで、1つ1つのパーツがそれぞれ大事なものとなっており、1つもかけてはならないものであると実感しました。

(中国語スタッフ M・A)



おかげさまで、今年の
バザーも
大盛況でした！

去る11月23日（勤労感謝の日）に横浜YMCAにて毎年恒例の「ウエルカム・フェスタ」が開催され、すまいサポートセンターも会員はじめ多くの皆様のご協力を得て、バザーを実施することができました。

たくさんの品物をご提供いただき、本当にありがとうございます！
今年の売上金は、26,100円となりました。そのうち、2,300円を横浜YMCAの国際協力募金に寄付させていただきました。

新規会員 紹介

<法人>

リビズ株式会社
(株)ネクストライフ
株式会社 クレア
株式会社 水島商事
株式会社 ランドマーク

<個人>

野村 武夫
仁田 義人
有川 憲治
明星 圭介
佐々木 和利



末永くどうぞよろしく
お願い致します！

会費納入 ありがとうございます！

◆法人会員◆

徳永リアルエステート(株)、湘南リビングセンター株式会社、有限会社 第一産業、徳増不動産、株式会社 太陽不動産、株式会社 杉浦商事、(株)アーバン企画開発、叶 不動産有限会社、豊一管財株式会社 株式会社 ハウスモリー、株式会社 昌栄、エス・ケーホーム(株)、ジャパンハウジング(株)、株式会社 むげん 尾川企画不動産、株式会社 海老名住宅センター、(有)松中一級建築士事務所、有限会社 東郊住宅社 株式会社 秋津不動産、株式会社 チェリッシュ、有限会社 寿不動産、(株)セントラルホームズ 株式会社 石川商事、有限会社 エスク、オーキッド株式会社、(株)川崎中央プランナー、株式会社 イチイ (有)ラディアン・ワークス、株式会社 おかだハウジング、(有)ヤマカプランニング、リビズ株式会社 (株)ネクストライフ、株式会社 クレア

◆団体会員◆

(公社)日本賃貸住宅管理協会 神奈川県支部
(公社)神奈川県宅地建物取引業協会
(公社)全日本不動産協会 神奈川県本部
(一社)全国賃貸不動産管理業協会 神奈川支部
(公社)神奈川県宅地建物取引業協会 川崎南支部
在日本朝鮮人総联合会、在日本大韓国民団
横浜華僑総会、中青年事業団やまて企業組合
(財)大和市国際化協会、神奈川青年司法書士協会

★2019年12月13日現在、順不同、敬称略。
漏れがある場合は事務局までご連絡ください。

◆個人会員◆

横山 良一、武田 利邦、金井 信高、長田 誠、稲村 厚
高橋 修、北田 純一、高村 文子、斐 安、竹口 秀夫
水田 秀子、西村 明夫、松本 アルベルト、朴 順子
黛 雅男、星野 毅、高原 晶子、長澤 勲、笠間 和歌子
森川 洋子、阿部 孝子、柳 晴実、永井 愛子、天野 萌
ファミルー アンジー、何 麗君、星 雪梅、佐藤 律子
蓬萊 弘司、有川 憲治

◆賛助会員◆

小儀 晃、車 香順、山成 健治、今泉 好夫、明星 圭介
佐々木 利一、株式会社 ランドマーク

会員入会・寄付のお願い

皆様のご理解、ご協力が「かながわ外国人すまいサポートセンター」の活動の力になります。会員となって私たちを支えていただければ幸いです。また、ご寄付も歓迎いたします。

振込先 [郵便局] 00270-5-39032
かながわ外国人すまいサポートセンター

*手数料はお客様のご負担となります。

正会員 年会費

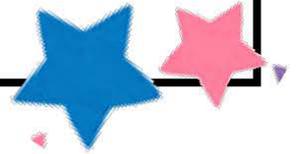
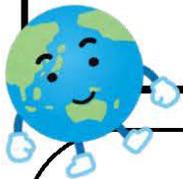
(個人)1口 5000円
(法人)1口 10000円
(団体)1口 100000円

賛助会員 年会費

(個人)1口 3000円
(法人)1口 10000円
(団体)1口 10000円

*4月1日～翌年3月31日までの年会会費です。

かながわ外国人すまいサポートセンター インターンシップ活動報告



インターン生の活動内容

- 8/3 AIDS文化フォーラム
- 8/7 AIDS文化フォーラムの発表まとめ
- 8/9 オリエンテーション
- 8/19,23 資料整理
- 8/21 グループワーク（私たちの考える外国人が困っていると思うこと）
- 9/3 資料印刷、スタッフインタビュー（スペイン語、英語スタッフより）
- 9/4,5 電話対応
- 9/6 ニュースレター作成
- 9/19 横浜市居住支援協議会ワーキンググループ事例検討会



（ グラナダ 金内 杉浦 ）

グループワークで話し合っ



私たちはインターンを通して外国人の方々が日本で暮らす上での問題や困難について理解することができました。その原因には外国籍の人を配慮しきれていない制度・法律や地域の付き合いからの問題によるものでした。

私たちはグループワークを行い外国人の人たちがどのようなことに困っているのかを考え、どのように解決していったらよいのか話し合いました。そして私たちは「日本人が他の国の生活や慣習について理解しようとしなくて一方的に区別してしまっている」という考えにたどり着きました。今、外国人の人たちには日本人並みに受けられるサービスや外国人に合わせたサービスが必要とされています。

そこで、私たち個人がもっている考え方やインターンを通して経験したこと得たことをもとに私たちにできることをいくつか考えました。

- ・地域とつながりを持ちコミュニティを形成して問題を話し合える場所をつくる
- ・母国語で研修会を開いたり、既存の日本の暮らしの手引きを再検討し足りないと思うものを新しくつくる
- ・どこで暮らしに必要な情報が得られるか、住まいの相談ができるか、YouTubeで紹介したりアプリを開発したりして手軽に知れるようにする

これらの意見が解決につながるかどうかはわかりませんが日本人も外国人も区別なく暮らせる社会の役に立つのではと考えます。これからも今回のインターンで学んだことを活かして私にできる小さなことから向き合いたいです。

今年のインターン生たちには「仲良く、自主的に」というキーワードが当てはまる。いつでもとても活発に、積極的に意見交換をしている様子が見られ、すまいサポートセンターの成り立ちを学習した時には、日本に住む外国人の抱えている生活課題について、自主的にグループワークを進めていた。ただ指示を待つのではなく、自分たちの力で学びを手繰り寄せる姿勢にとっても感動した。今後のインターン活動の内容として、グループワークもいいな！とヒントをもらい、受け入れ側として得た気分にならせてもらった。（インターン受け入れ担当）



★☆☆ インターン生の感想 ☆☆☆

グラナダ将奈三（ぐらなだじょなさん） 明治学院大学国際学部国際学科

私は父がフィリピン人、母が日本人のハーフです。父がフィリピン人ということもあり日本にいる外国人の苦労は少し知っていましたが、大学のゼミで在日外国人について取り扱ったとき、日本の法律や制度によって苦しんでいる外国人がいると知ってとても驚きました。そこでインターン先の中に外国人の相談を受けている「すまセン」を見つけました。

「すまセン」に来る方々の中には家探し以外にも家を売りたい人や家族の財産を処分したい人などとても複雑な問題を抱えている人もいました。本来ならそのような問題が起きたら知り合いに相談して解決していけばいいのですが、外国人は言葉や文化の壁で相談できる人が近くにいません。また、それは外国人だからという理由だけでなく日本の隣人関係の希薄化も関係しています。そこで私たちが目指すべき社会は国籍など関係なく助け合える社会だと思いました。

金内俊太（かなうちしゅんた） 明治学院大学心理学部教育発達学科

大学では外国籍や在日児童の学校生活での苦労について学ぶ機会が多くありました。日本国籍を持たない児童には教育の義務はないなど多くの問題を抱えているのに、国はどうしてこれからも外国人を多く受け入れるのだろうかという思いから日本で暮らす外国人の現状を知るために「すまセン」で活動することを希望しました。

相談の内容はとても複雑なものばかりでした。また、社会保障や法律・制度について外国人に対して配慮されていない点が多いことを知りました。住む場所や年金の問題など日本人なら「普通」と思って済ませていることでも日本の法律や制度を知らない人にとっては大きな暮らしの壁となってしまうのです。日本人の暮らしと変わらない生活を送り、日本人と外国人が分け隔てなく暮らせる日々を目指せるために考えていくことが大切だと感じました。そのために多文化が共生するための制度や支援を考えていくことがこれからの私たちのやるべきことだと感じました。

杉浦宥羽（すぎうらゆうは） 目白大学社会学部地域社会学科

私は、中国人留学生の友人から日本で生活していて良いところや困っていることを聞きました。特に、日常生活で困ることが多いと言っていました。そこで私は、より多くの外国人居住者の話を聞いてみたいと思いインターンに参加させていただきました。

インターンに参加し、話を聞いてみると私が考えていた問題だけでなく制度が不十分であったり、私の理解が浅いことや自分が知らなかったこと、自分勝手に考えていたことがとても多いことに気づきました。「すまセン」でのインターンに参加しなければ実際の声を聴くことが出来ず、自分だけの偏った考え方で過ごしていたと思います。ここでのインターンを通して新しい知識や実際の声を聴くことができ、貴重な経験になりました。この経験を活かし、様々な考え方ができるようになればと思います。

**すまセンのスタッフのみなさま
ありがとうございました！**



相談窓口 & 対応言語

10言語

英語・中国語・韓国語・
スペイン語・ポルトガル語・
タガログ語・ベトナム語・
ネパール語・タイ語・やさしい日本語

	10:00~13:00	13:00~17:00
月	スペイン語、韓国語、タイ語 (第1, 3)	スペイン語、韓国語、タイ語 (第1, 3)
火	英語、中国語、スペイン語	英語、中国語、スペイン語、ネパール語 (15時~)
水	英語、韓国語、中国語 タガログ語 (第2, 3)	英語、韓国語、中国語、 タガログ語 (~16時、第2, 3)
木	英語、ポルトガル語、スペイン語、 ベトナム語 (第1, 3)	英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語 ベトナム語 (~16時、第1, 3)
金	英語、ポルトガル語、スペイン語、 韓国語	英語、ポルトガル語、スペイン語、韓国語、

◎月曜~金曜の午前10時~午後5時まで。 ◎相談は、無料で受けております。
◎対応言語は都合により変わる事があります。お電話でご確認ください。



【翻訳・通訳業務】

◆文書の翻訳を有料で行っています!

- ✎ 対応可能言語 (中国語・タイ語・ベトナム語
英語・タガログ語・韓国朝鮮語・ポルトガル語
スペイン語・ネパール語・ミャンマー語など)
- ✎ 翻訳料金と納期については、お問い合わせください。

◆一般通訳を有料で行っています!

- ✎ 市区町村役場・年金事務所・不動産店
病院・弁護士事務所など
- ✎ 詳細については、お問い合わせください。

《翻訳可能文書》

戸籍謄本・原戸籍・住民票
課税証明書・納税証明書・出生届
結婚届・離婚届・死亡届・受理証明書
雇用証明書/登記簿謄本
フィリピン PSA 証明書
健康診断書・自治体の広報紙など



アクセス



JR根岸線 関内駅南口より徒歩
10分
市営地下鉄ブルーライン関内駅
出口1番より徒歩5分
みなとみらい線日本大通り駅よ
徒歩5分
*横浜スタジアム向かい

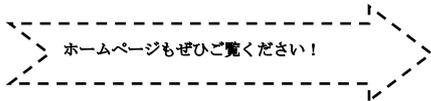
〒231-8458

横浜市中区常盤町1-7 横浜 YMCA 2階

TEL: (045)228-1752 Fax: (045)228-1768

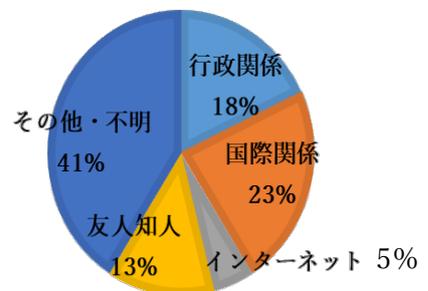
URL: <http://www.sumasen.com/>

Mail: sumai.sc@sumasen.com



《編集後記》 「すまセン」を

どこで知りましたか?



・年間1300件以上の相談を受けている「すまセン」、相談者はどこで「すまセン」の情報を得るのか、調べてみた。一番多いのは「国際交流関係団体」、次に「役所などの行政機関」、「友人知人」と続く。日頃の他団体との連携と熱いハートで寄り添う姿勢が、「すまセンに相談してみよう!」という気持ちにつながっているのだと思う。今度「その他・不明」の内容も詳しく調べてみよう。(C・R)